

新しい京都の環境住宅モデルの開発、普及促進策として京都市が推進 京都市認定「平成の京町家」(一般型)1号棟、完成見学会を開催

京都の木造文化、生活文化を象徴する京町家の伝統と知恵を受け継ぎながら、先端の環境技術を融合させた新しい京都の住宅モデル

株式会社リヴ(本社 京都市西京区御陵谷町38-6、代表取締役社長 波多野賢は、平成23年9月16日(金)(行政・マスコミ向け)、17日(土)~19日(月祝)(一般来場者向け)に、京都市西京区御陵峰ヶ堂町3丁目38-6(桂坂きよらの丘分譲地内)にて、京都市の「環境モデル都市・京都」のシンボルプロジェクトに位置付ける「木の文化を大切にすまちなまち・京都」の具体的な政策・テーマの一つである、「平成の京町家」(一般型)の1号棟の完成見学会を開催いたします。

主な内容は次の通りです。

- ① 京都の住文化を現代の家に取り込んだ、「新しい京都の住まい」
- ② 気候風土に合った、京町家の住まいの知恵を取り込んだ、京都のエコ住宅。
- ③ 京唐紙などの古くから伝わる素材をインテリアにも活用。
- ④ 地産地消を推進し、京都産木材を使用。
- ⑤ 長期優良住宅(長期優良住宅先導的モデル)をベースとし、高性能な住宅。
- ⑥ 柱・梁などの木材が室内に見える、現し(あらわし)スタイル。
- ⑦ 通風・冷暖房をコントロールすることができる間取りと最新の節電設備を搭載。
- ⑧ 無風の光冷暖房システムを京都の住宅では初搭載。
- ⑨ 建物本体価格は1坪(3.3㎡)当たり59万円~

① 京都の住文化を現代の家に取り込んだ、「新しい京都の住まい」

地域とのコミュニケーション性が高い、広い玄関土間であったり、光と風を取り込むと共に、豊かな室内空間を作り出す中庭スペースなど、京町家もつ豊かな住文化を活用しながら、現代の家で求められる、家の中でのコミュニケーションの高さ、室内のパーミアビリティ(見晴らしの良さ)、永く住み継ぐ為の可変性の高い間取りなども実現した、「新しい京都の住まい」を発信。

② 気候風土に合った、京町家の住まいの知恵を取り込んだ、京都のエコ住宅。

夏は蒸し暑く、冬は底冷えがきつい、厳しい気候の京都市内。京町家には、そんな気候の中でも、効率よく快適に過ごす為の工夫も多くこらされている。深い庇や縁側、中庭空間は、半室外空間として、過酷な屋外の環境を和らげる効果を持つ。平成の京町家では、これらを「環境調整空間」と位置付け、設置することを求めている。

③ 京唐紙などの素材をインテリアにも活用。

多くの社寺仏閣、京町家で使用され、古くから、良質の素材として名高い京唐紙、数寄屋作りなど、遊び心の高い建物で見られる障子の棧遊びなど、豊かな京都の素材を、現代のインテリアとしても活用している。

④ 地産地消を推進し、京都産木材を使用。

使用材料は、全て京都市内を中心に、京都府内の木材を使用し、地産地消を行う。木材は北緯1度以内

の産地材を使う場合、伐採後も強度が安定するといわれており、古くから社寺仏閣においてはその近隣産の木材が使用されてきた。

今回の建物は、府内森林の多数を占める杉材を使用し、集成材とすることで、大断面木材を作成し、強度を確保することに成功している。

また、柱と梁の接合部などの工法は、ミサワ・インターナショナル(ミサワホーム創業者、三澤千代治氏代表)が提案する、200年住宅HABITA(ハビタ)を採用している。

⑤ 長期優良住宅をベースとし、高性能な住宅。

省エネ、維持管理性、耐久性を備えた、長期優良住宅をベースとして、全体的な住宅の品質確保の基準をクリアして、性能も合法的に評価されるものとした。

⑥ 柱・梁などの木材が室内に見える、現し(あらわし)スタイル。

室内から使用している柱や梁が見える、現し(あらわし)で室内が構成されている。京都の山で育ってきた木の風合い、香りを感じることができ、優しい仕上げになっている。また、構造材を露出させることで、木材を密閉しないため、乾燥状態を保つことにも役立つ。

⑦ 通風・冷暖房をコントロールすることができる間取りと最新の節電設備を搭載。

京町家をはじめとする日本家屋は、部屋の使用に合わせ、襖や障子を用いて仕切ったり、広げたりすることが可能で、通風や主に暖房時の効率に合わせることも一役買っていた。平成の京町家の中でも、現代の間取りの中で、温熱環境のコントロールを行うことができる建具を適切に配置することで、効率のいい省エネを目指す。

また、太陽光発電システムとエネファーム(家庭用燃料電池)も設置。最新の節電設備も設置している。

⑧ 無風の光冷暖房システムを京都の住宅では初搭載。

遠赤外線を利用した、医療施設、公共施設では採用され始めている、無風の冷暖房システムを京都の住宅では初採用。静かで、身体に優しく、環境にも優しい、これまでにはない新しい冷暖房の体感ができる。

⑨ 建物本体価格は1坪(3.3㎡)当たり59万円から。

一般普及型の価格を目指し、1坪(3.3㎡)当たり59万円からの価格を実現。同展示場の場合、建物のみの価格はおよそ2450万円(屋外工事・付属品類は除く)ほど。

開催地

京都市西京区御陵峰ヶ堂町3丁目38-6(桂坂きよらの丘分譲地内)

※下記株式会社リヴから送迎車を出している為、お車でお越しの方はリヴまでお越し下さい。(送迎車にて車で5分)

開催時間

9/16(金)(マスコミ・行政・業界関係者公開)10:30~11:30、14:00~15:00、16:00~17:00の3回

9/17(土)~9/19(月祝)(一般公開) 10:00~16:00

<当案内に対するお問い合わせ>

株式会社リヴ

〒615-8241 京都市西京区御陵谷町38-6

TEL: 075-393-2100 FAX: 075-393-5050

担当 市川 宣広 Mail: liv_design_office@yahoo.co.jp

暖かきよう、暮らしの笑顔
暑かきよう、地球の笑い声

